

自然学校を実施しました（5年生）NO.1

9月14日（水）～9月16日（金）に、ハチ高原で、5年生が自然学校を体験しました。

自然学校は、兵庫県が推進している事業の一つです。学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、子どもたちが人や自然、地域社会とふれ合い、理解を深めるなど、長期宿泊体験を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的としています。

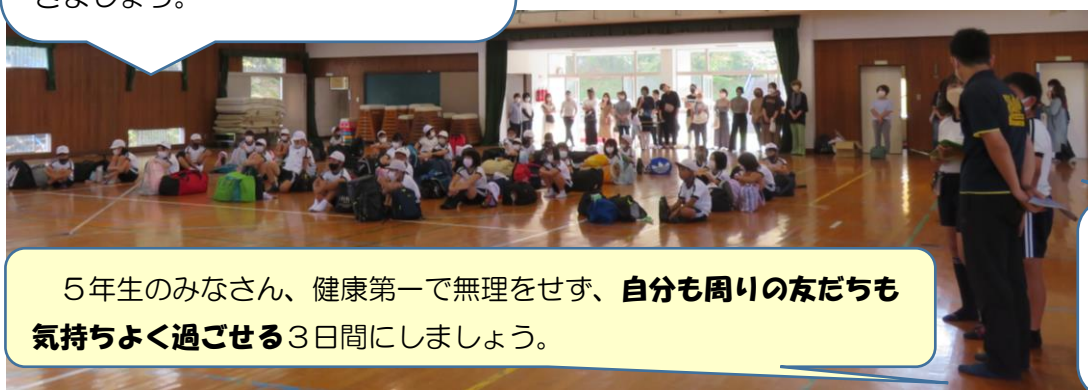
今年度の自然学校も、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止対策の関係で、2泊3日と日帰り2日間で実施されます。今回は、2泊3日の自然学校を実施しました。

子どもたちは、『自立・友情・協力・全力で楽しむ自然学校』をテーマに決め、それを合言葉に、3日間生活をしてきました。お家の人と3日間も離れて生活したことがなかった5年生がほとんどでしたが、いろいろな面でよく頑張りました。

9月14日 出発式

9月14日から3日間、自然学校に行ってきます。自然学校の目的・テーマを意識して、精一杯頑張ってください。

3日間、リーダーさんや救護員さんにも大変お世話になります。



5年生のみなさん、健康第一で無理をせず、**自分も周りの友だちも気持ちよく過ごせる**3日間にししましょう。

保護者の皆様、準備から見送りまで、どうもありがとうございました。

《高丸山登山》



班ごとに頂上を目指しました。一番に到着した班もあれば、最後に到着した班もあります。大切なのは、到着した順位ではありません。

●登山中に、ナイロン袋を落とした人がいます。自分が持ってきたものは、責任をもって持ち帰りましょう。
 ●班行動で登山をしました。ペースの速い人もいればゆっくりの人もいます。お互いに声をかけながら、ゆっくりの人のペースで行動すると、班全体の進む速さが速くなります。



登山を通じて、子どもたちは、「**自然を大切にすること**」と「**友だちと協力することの大切さ**」を学びました。

高丸山登山は、全員が参加し、一人もリタイアする人はいませんでした。5年生の子どもたちはよく頑張りました。どの子ども頑張った中で、印象に残った言葉がありました。

「班で登山をしました。1位は、〇班です。2位は、〇班です。・・・みんな、よく頑張って登山することができました。その中で、一番頑張ったのは最後に到着した人です。一番長い時間をかけて到着しました。」です。

登山の得意な人もいれば、体調などの関係で登山がきつかった人もいました。最後に、到着した人にとってこの言葉は、とても励みになった言葉となりました。下山の際には、登山で**自分がされてうれしかったことを、どんどん友だちに返していました。「がんばって!」「荷物を持つとか?」「もう少しでゴールやで」**等、温かい言葉かけが子どもたちの間で広がりました。

《野外炊飯：牛すきなべ作り》

新型コロナウイルスの感染防止対策も講しながら、子どもたちの楽しみにしている『牛すきなべ』作りに挑戦しました。材料を切る人、火をおこす人等、手分けをして野外炊飯を行いました。おかわりのお世話は、大人が行いました。



牛乳パックを利用して、上手く火をつけることができました。



《全体ミーティング・リーダータイム》

全体ミーティングでは、一日を振り返って、「上手くいったこと」「上手くいかなかったこと」を話し合いました。上手くいかなかったことは、原因を考え、同じ失敗を繰り返さないように話し合いました。



自然学校初日、子どもたちは、班行動がなかなかとれませんでした。そのような中、子どもたちは、忘れ物をしたり、時間が守れなかったりと、いろいろと失敗をしました。**失敗をしていいのです。次に失敗をしないように考え行動することがとても大事です。**失敗を他人事に考えるのではなく、『自立・友情・協力・全力で楽しむ自然学校』を目指し、仲間意識をもって行動できるように声かけをしていきました。**1日目よりも2日目。2日目よりも3日目と、子どもたちは仲間意識をもちながらどんどん成長していきました。**